

5 学識経験者からの意見

教育委員会の点検評価を行うにあたっては、その実施方法や結果について、教育に関し学識経験を有する方からご意見をいただきました。

その概要については、以下のとおりです。

○学校教育の充実においては、新しい学習指導要領の趣旨を生かすための各種研究部会や研究委嘱等が活発に行われています。

また、学校・家庭・地域との連携については、引き続き強化を図っていくことが必要です。特に学校支援体制においては、学校応援団やスクールガードリーダーなど、多くの組織が関わっていますので、それらの組織同士の連携も図り、体制を充実させていくことが重要です。

○幼児教育の充実においては、市内の公立幼稚園と私立幼稚園との連携が求められます。幼児教育は義務教育の基礎を培う場であり、このことは公立であっても私立であっても違いがないことから、久喜市全体としての幼児教育の在り方を検討することが必要です。

○安全・安心な教育環境の整備においては、学校施設の耐震化を平成27年度までに完了することができるよう、引き続き計画的に進めていくことが求められます。

○人権を尊重する教育の推進においては、子どもの人権や、命の大切さ、心の学習を加え、人を思いやる教育として充実させていくことが必要です。

○生涯学習の推進においては、「まなびすとフォーラム」や「まなびすと久喜」など特色ある事業を実施しています。これらの特色ある事業を久喜市内だけでなく、市外に向けても広く発信することで、さらに発展していくことが望まれます。

○スポーツ・レクリエーション活動の充実においては、各地区で数多くの事業が実施されています。今後については、参加対象が特定団体等に偏ることのない、誰もが自由に参加できるような市主催事業の充実が望まれます。また、旧市町単位で組織されていた体育協会が、すでに統合されていることから、一体感を持った運営が求められます。

○歴史・文化の継承と活用においては、市内各地区の体系的にまとめた文化財を情報として発信することが重要です。広く知られていない歴史・文化を掘り起こし、PRすることで、市の活性化も期待できます。情報発信においては、拠点としての郷土資料館を中心に行うことが望まれます。

西 崎 道 喜
相 澤 勝 壽



久喜市